

保護者とともに学び・行動する

学童保育運動は、力強い！

守口市職労

畠中 琴代さん

(守口市学童保育指導員)

11月7日・8日に大阪で開催される第50回全国学童保育研究会の実行委員会で、事務局長として集会成功に向け毎日奮闘している守口市職労の畠中琴代さん。職場は守口市の児童クラブで学童指導員として30年間、子どもたちや保護者と同じ元気に働いています。野菜作りと仲間と美味しいものを食べることが明日への力の源です。

きた、たかいです。

学童保育の未来を

その発祥の地・大阪で

語りあう「全国研」

保護者とともに
学童保育をとりもどす
たかいたりにとりにくんで

目の前の子どもたち一人ひとりのその子らしさが認められ、保護者のみなさんが安心して働き・子育てできるために、指導員なかと一緒に保育実践も、労働運動もがんばってきました。

守口では、2005年に学童保育の条例が廃止されました。その後で、指導員と保護者が一緒になって、学童保育を取り戻すたかいたりにとりにくみました。子どもを真ん中に置き、共に学び・話し合い・行動することの大切さと力強さを再認識で

今年、「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、学童保育では民間委託、放課後子ども教室との一体化という攻撃がかかっています。その年の第50回の節目となる「全国研」が大阪で開催されます。

学童保育発祥の地、大阪で11年ぶりに開催するということで、50年間の学童保育運動を振り返りながら、10年、20年先にとのよう学童保育をつくっていくのか、保護者とともに学び、交流しながらとりにくみを進

めています。
1日目の全体会は、門真市のなみはやドームです。歓迎文化行事では、指導員・保護者100人の太鼓、子どもたち1100人のけん玉と合唱、そして、戦後70年、平和への願いを込めて「折り鶴」の大合唱をします。2日目は、大阪市立大学で、約40の分科会が開催され学習と交流が行われます。

全国研の成功に向け
組合員全員参加が目標

全国研の成功に向け、関連評学童保育指導員労組連絡会として、組合員全員参加の目標でとりにくんでいます。集会全体では大阪で4000人、全国で6000人の目標でとりにくんでいます。各単組の皆様には、協賛金、物品販売等ご協力いただきありがとうございます。引き続き、さらなるご支援、ご協力、そして、当日の参加協力をお願いいたします。



写真中央が畠中さん。指導員労組連絡会の会長もしています。府内の指導員労組の仲間とともに。「みなさん、全国研に来てください！」



9月29日の府議会開会日行動

2015年秋学期末闘争スタート

2015年秋学期末闘争は、憲法違反の戦争法の発動許さず、廃止に回けたたかいたりにくんでいます。戦後70年の節目の年に平和と民主主義を守り、自治体公務・公共労働者をはじめ、全ての働く仲間の権利と、住民のいのちとくらしを守る運動を大きく発展させるために、共同をひけてたかいたります。



衛都連大会（10月3日）ではダブル選挙の勝利をはじめ秋学期末闘争で奮闘する決意を固めた

くらし最優先の自治体めざし

共同を広げただかおう！



大阪自治労連は戦争法の発動を許さず廃止を求めていくために、10月3日に学習会を開催した